

## 活動状況

- ★ 情報交流会 - Charles Nutter氏、下道高志氏を囲んで  
- 2008年6月23日

オープンソースラボにて、アメリカのSun Microsystemsから来日したJRubyコア・デベロッパー・Charles Nutter氏とサン日本法人の下道高志氏を囲んでサロンが行われました。今回はいつもと違い、ラボに食事とワインを持ち込んでのパーティー形式で進行、それでもCharlesはホワイトボードを使って松江のエンジニア達と意見交換会、まるでJRubyKaigi in MATSUEが行われているようでした。(野田)



情報交流会にて(中央がNutter氏)

- ★ 第31回オープンソースサロン - 2008年7月4日

塩崎量彦氏(Nexedi)による「オープンソースERP[ERP5]の紹介」及び、張永忠氏(上海教育ソフト発展会社社長)、郭永進氏(電達情報技術有限会社副社長)による「中国の教育分野におけるオープンソース活用の状況」の2本立てで行われました。

服飾・航空宇宙・金融・教育など 様々な分野でのOSSの利用、中小企業に敷居が高いと思われるERPをASPとして提供、政府による国産OSS製品の推奨など、フランス、中国と世界のOSS状況を聞くことが出来ました。

日本も負けず、OSSの市場での競争力の向上を目指して行きたいですね。(売豆紀)



オープンソースサロンにて

- ★ Ruby勉強会 in 松江 - 2008年6月14日、7月12日

毎月第2土曜日の午前中に、松江オープンソースラボでRubyに関する勉強会「Ruby勉強会 in 松江」を開催しています。

本勉強会の目的は、

1. Rubyに関する知識を高める
2. Rubyプロジェクトに貢献する
3. 松江周辺のRubyユーザの情報交換の場所を提供する

という3つです。具体的な活動は、ある程度Rubyでプログラムを作成できる方を対象として、参加者の力を合わせて「Rubyのリファレンスマニュアルを読んで理解する」ということを行っています。第1回は7月14日、第2回は7月12日に行い、どちらも約30名の方にご参加いただきました。勉強会の後は、希望者で昼食をとり、Rubyのことや日頃の業務のことなどの情報交換をしています。

勉強会への参加をご希望される方は、松江SNSに登録し、「Ruby勉強会 in 松江」コミュニティに参加ください。勉強会に関する情報のやりとりは、主にこちらで行っております。

みなさまのご参加をお待ちしております。(高尾)



Ruby勉強会の様子

## 今後の予定

- ★ しまねOSS協議会 年次総会

日時 : 2008年8月1日(金) 午後4時30分~午後5時30分

場所 : 松江オープンソースラボ(松江テルサ別館2階)

\* 総会の後、第33回オープンソースサロン&オープンソース・カンファレンスキックオフセミナーを予定しています。

- ★ 「オープンソースカンファレンス 2008 Shimane」

日時 : 2008年9月12日~13日

会場 : 松江テルサ 会議室ほか

\* 詳細は左記URLにて随時公開 <http://www.ospn.jp/osc2008-shimane/>

# 県内のオープンソースに関する動向

## ★ 島根県CMSについて

島根県CMSはページを作成する職員の負担軽減などを目的として平成18年度から島根県公式ホームページで稼働しました。島根県CMSはRuby on Railsをベースとして構築されており、音声読み上げや自動ルビ振り機能など「アクセシビリティ」を重視したインターフェイスを実現しています。

受賞歴はアックゼロヨン・アワード2006の総務大臣賞、社団法人日本広報協会の平成20年度全国広報コンクール入選です。平成20年2月からはオープンソース・ソフトウェアとして公開が始まり、これからは全国への広がりが期待されます。(長井)



## Ruby Kaigi '08



日本Ruby会議(Ruby Kaigi)は「プログラミング言語Rubyのみに特化した国内ではじめての本格的なカンファレンス」として2006年から始まり、今回は3回目の開催になります。

JRubyやIronRubyなどオリジナル以外の実装がいくつも登場したり、またエンタープライズ分野から高い注目が集まる中、「いくつものRuby処理系、いくつものRubyコミュニティが影響しあいながら発展を目指すため」(趣意書より)、「多様性」をキーワードとして開催されました。

場所もつくば国際会議場という本格的な会場になり、金曜日は0th dayとして平日にビジネス寄りのセッションを行ったり、二つのホールで並行してトラックを走らせるなど新たな試みが取り入れられていました。

ちなみにタクシーの運転手さんから「今朝は何度も外人さん運んだけど何があるの」と聞かれ、「日本人が開発したプログラミング言語の国際会議ですよ」などと解説をしてしまいました。

しまねOSS協議会からは、昨年に続き野田副会長が「Ruby City MATSUE Projectの2年間」と題して報告され、その一部として私も場違い感を漂わせながら松江市の取り組み紹介をさせていただきました。運営はすべてボランティアで、テーマ設定、会場選定、スポンサー調整から会場BGM、ノベルティやパンフのデザインなどあらゆる面で繊細な配慮とスマートさをもった運営が行われていたことが印象的でした。(土井)

## 編者後記

### ・ ニュースレターの発行について

事務局にとって積年の夢であったニュースレターをいよいよ発行することができるようになりました。今回は第一号ということで、近況を報告する程度の内容になっていますが、これからも会員の方々に少しでも有益な情報を提供できるよう、積極的に情報を収集していきます。

また、会員の方々による情報発信の場としても活用していただきたいと思いますので、よろしくお願いたします。

次回、第二号は10月頃の発行予定です。(木村)